GT ナビ
取扱説明書

富士アイティ株式会社

GreenTerminal

目次

1. はじめに ..... - 2 -
1.1. ご使用上の注意 ..... - 2 -
1.2. 記号について ..... - 2 -
2. GT ナビの概要 ..... - 3 -
2.1. 特徴 ..... - 3 -
2.2. GT ナビの考え方 ..... - 4 -
2.3. 電力使用率の求め方 ..... - 6 -
2.4. 機能 ..... - 8 -
2.4.1. GT ナビマネージャー機能 ..... - 8 -
2.4.2. GT ナビ機能 ..... - 8 -
3. 動作環境 ..... - 9 -
4. GT ナビの仕様 ..... - 9 -
5. GT ナビのインストールとアンインストール ..... - 10 -
5.1. GT ナビのインストール ..... - 10 -
5.2. GT ナビのアンインストール ..... - 13 -
6. GT ナビの起動と終了 ..... - 15 -
6.1. GT ナビの起動 ..... - 15 -
6.1.1. スタートメニューからアプリケーションを起動 ..... - 15 -
6.1.2. ディスクトップ上のショートカットメニューからアプリケーションを起動 ..... - 15 -
6.1.3. スタートアップからアプリケーションを起動 ..... - 15 -
6.2. GT ナビの終了 ..... - 15 -
7. GreenTerminal と GT ナビの接続構成 ..... - 16 -
8. GT ナビの設定 ..... - 17 -
8.1. GT ナビで状態監視するグループを設定する ..... - 18 -
8.2. アプリケーションの動作モードを設定する ..... - 19 -
8.3. GT ナビマネージャーの動作を設定する ..... - 20 -
8.4. GT ナビの動作を設定する ..... - 22 -
8.5. モニタを開始する ..... - 23 -
9. 監視グループの状態表示 ..... - 24 -
9.1. タスクトレイの ICON 状態表示 ..... - 24 -
9.2. バルーン表示 ..... - 24 -
9.3. 使用電力モニタ ..... - 25 -
9.4. グループ一覧 ..... - 26 -
9.5. モニタ情報のクリア ..... - 27 -
10. トラブルシューティング ..... - 28 -

1. はじめに

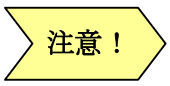
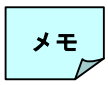
このたびは、GT ナビをご利用いただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書では、GT ナビのご利用方法について解説いたします。

GreenTerminal のご利用方法につきましては、GreenTerminal 取扱説明書(NA503894-09)をご参照ください。

1.1. ご使用上の注意

- GT ナビは、省エネ活動を目的とした製品であるため、課金や取引にかかわるデータの監視目的には、ご利用いただけません。
- GT ナビをインストールした全てのパーソナルコンピュータにおいて、時刻が一致している必要があります。

1.2. 記号について

	取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を招く差し迫った危険な状況が想定される内容を示します。
	取り扱いを誤った場合、軽傷または中程度の傷害を招く可能性がある状況、および物的損害の発生が予測される危険な状況を示します。なお、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。
	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを示します。注意事項を守らないと，故障の原因になることがあります。
	補足事項や、参考となる情報を示します。

2. GT ナビの概要

本アプリケーションは、場内に設置された GreenTerminal から、監視している計測点（以下、グループと称す）の状態を定期的に収集し、ネットワークに接続されているパーソナルコンピュータ（GT ナビがインストールされているもの）に状態を通知し、警報メッセージを表示しナビゲートするものです。

※注：グループとは、GreenTerminal で使用されるタグを示します。

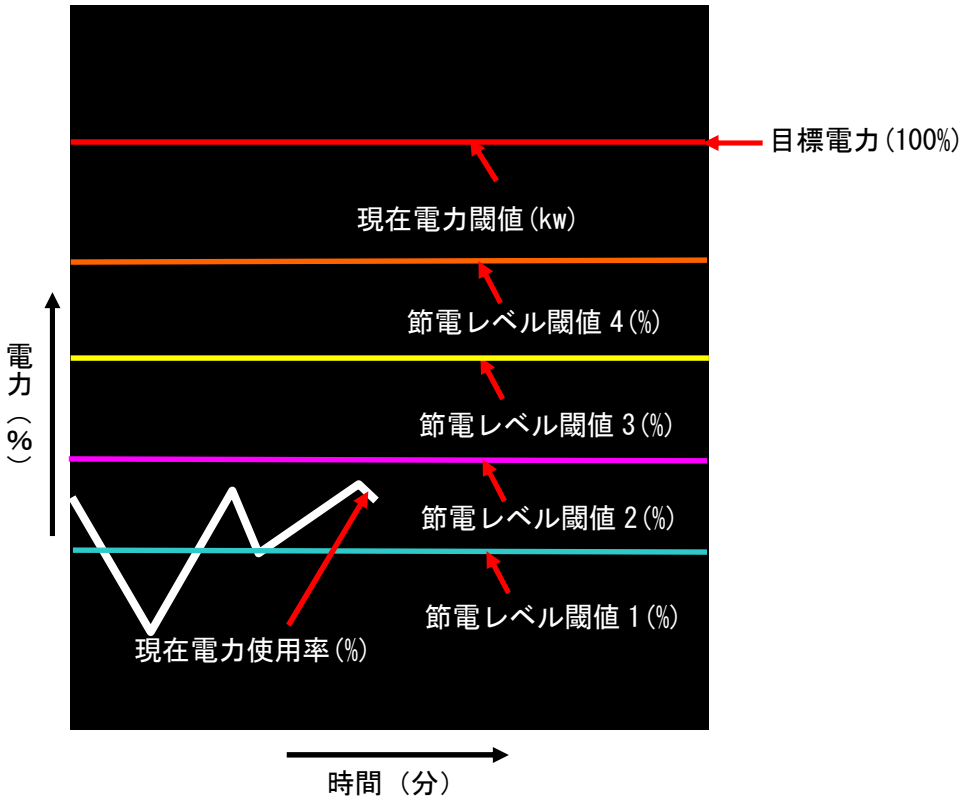
2.1. 特徴

- 専用のパーソナルコンピュータを必要とはいたしません。お持ちのパーソナルコンピュータにインストールするだけでご使用になれます。
- 各種計測機器の計測信号の収集・集計は GreenTerminal で行います。

2.2. GT ナビの考え方

GT ナビ機能の考え方は、下図のようになります。

演算は GreenTerminal の 1 分値生成直後、その 1 分値を用いて行ないます。



①現在電力閾値

現在値の閾値を kW で設定します。この値を目標値（100%）の値とします。

②現在電力使用率

GreenTerminal が生成した 1 分値を取得し、現在電力閾値（目標値）にたいしての使用率（%）に変換します。

現在電力使用率は、現在値サンプリング時間内の有効データの平均値を使用率に変換します。

現在電力使用率は、過去の値は保持いたしません。

③節電レベル閾値 1・節電レベル閾値 2・節電レベル閾値 3・節電レベル閾値 4

節電レベル閾値をパーセント値で指定し、4 段階で設定します。

④節電レベル閾値の判定

現在電力使用率（%）と節電レベルの閾値（%）を比較し節電レベルを決定します。

詳細は、以下の通りです。

No.	現在値の状態	判定した節電レベル
1	現在電力使用率＜＝節電レベル閾値 1	節電レベル 1
2	現在電力使用率＞ 節電レベル閾値 1 &現在電力使用率＜＝節電レベル閾値 2	節電レベル 2
3	現在電力使用率＞ 節電レベル閾値 2 &現在電力使用率＜＝節電レベル閾値 3	節電レベル 3
4	現在電力使用率＞ 節電レベル閾値 3 &現在電力使用率＜＝節電レベル閾値 4	節電レベル 4
5	現在電力使用率＞ 節電レベル閾値 4	節電レベル 5

2.3. 電力使用率の求め方

GT ナビ機能の電力使用率は、サンプリング時間内で取得した現在電力の平均値を使用率（%）に変換します。詳細は以下の通りです。

例 1)サンプリング時間を 5 分・現在電力閾値を 100kW に設定した場合(無効データなし)

計測開始 ↓　　現在時刻 ↓

時刻	xx:31	xx:32	xx:33	xx:34	xx:35	xx:36
現在電力(kw)	10	20	30	30	10	30
使用電力率(%)	なし	なし	なし	なし	20	24

xx:31～xx:35 の平均値

xx:32～xx:36 の平均値

例 2)サンプリング時間を 5 分・現在電力閾値を 100kW に設定した場合(無効データあり)

計測開始 ↓　　現在時刻 ↓

時刻	xx:31	xx:32	xx:33	xx:34	xx:35	xx:36
現在電力(kw)	10	20	30	30	10	無効データ
使用電力率(%)	なし	なし	なし	なし	20	23

xx:31～xx:35 の平均値

xx:32～xx:36 の平均値

※注：無効データとは、接続機器からデータが取得できなかった場合を示します。

例 3)サンプリング時間を 5 分・現在電力閾値を 100kW に設定した場合(全て無効データ)

計測開始 ↓　　現在時刻 ↓

時刻	xx:31	xx:32	xx:33	xx:34	xx:35	xx:36
現在電力(kw)	10	無効データ	無効データ	無効データ	無効データ	無効データ
使用電力率(%)	なし	なし	なし	なし	10	無効データ

xx:31～xx:35 の平均値

xx:32～xx:36 の平均値

2.4. 機能

本アプリケーションには、GT ナビマネージャー機能と GT ナビ機能を、モード切替にてご利用になれます。

※GT ナビマネージャー機能をご利用の場合、GT ナビ機能もあわせてご利用になれます。

2.4.1. GT ナビマネージャー機能

GT ナビマネージャー機能は、定周期に GreenTerminal が収集・集計したデータを読出し、GT ナビ機能へ自動配信いたします。

2.4.2. GT ナビ機能

GT ナビ機能は、GT ナビマネージャーが配信したデータを受信し、以下の機能で対象となる監視グループの状態を確認することができます。

■ タスクトレイの ICON 状態表示

対象となる監視グループの電力状態を ICON で表示します。

■ バルーン表示

対象となる監視グループの電力状態が変化を検知すると自動的に状態をバルーンで表示します。

■ 使用電力モニタ

対象となる監視グループの電力状態を分かりやすいグラフで表示します。

■ グループ一覧

全てのグループの電力状態を一覧表で表示します。

3. 動作環境

本アプリケーションを、ご利用いいただくには、以下の環境が必要です。

項目	仕様
GreenTerminal	V06E01L001 以降
オペレーティングシステム 注 1)	Microsoft 社製の以下のいずれかの日本語版 OS ・Microsoft Windows XP(32 ビット) ・Microsoft Windows Vista(32 ビット) ・Microsoft Windows 7(32 ビット)
その他のソフトウェア	Microsoft .NET Framework 2.0 ランタイムライブラリ Microsoft .NET Framework 日本語 Language Microsoft Internet Explorer バージョン 6.0 以降

注１） オペレーティングシステムは最新の状態（Service Pack の適用等）にしてください。

4. GT ナビの仕様

GT ナビの仕様を以下に示します。

項目	仕様
管理できる GreenTerminal の台数	1 台
管理できるグループ数	最大 10 点
GT ナビマネージャーの台数	同一グループ内に最大 5 台

5. GT ナビのインストールとアンインストール

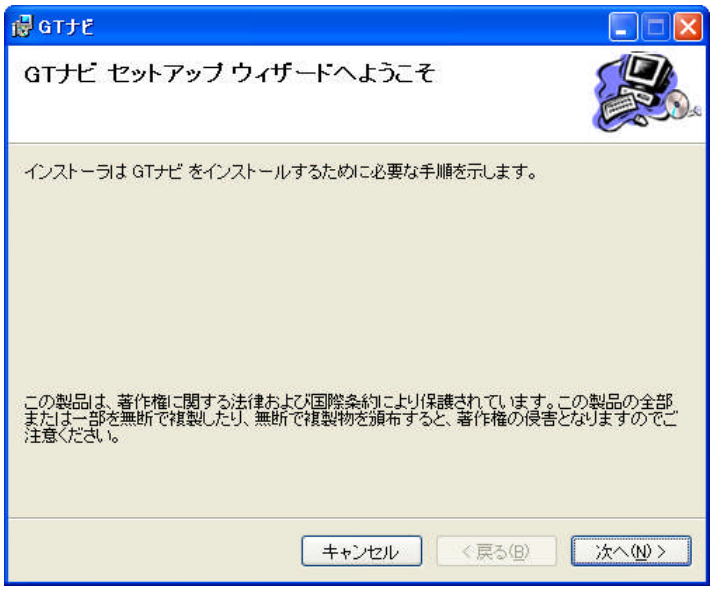
5.1. GT ナビのインストール

GT ナビのインストールは、以下の手順で行います。

【手順】

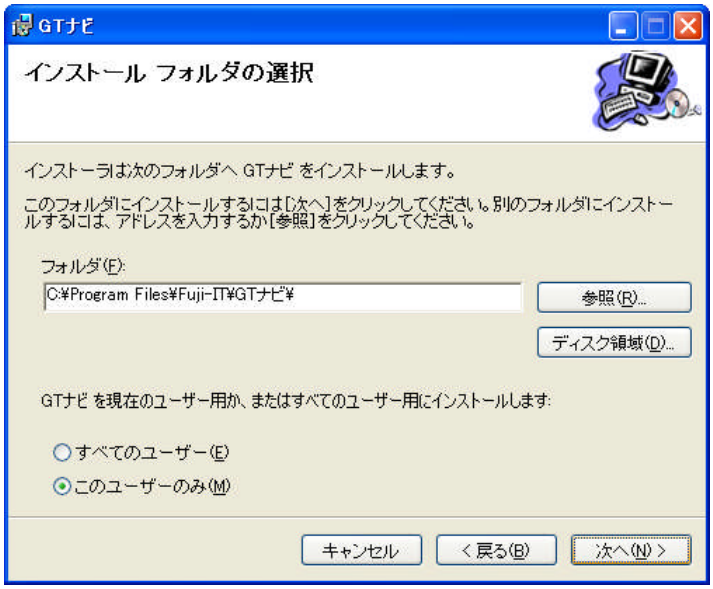
■ Setup.exe を起動します。

■ 「GT ナビセットアップウィザードへようこそ」画面が表示されます。



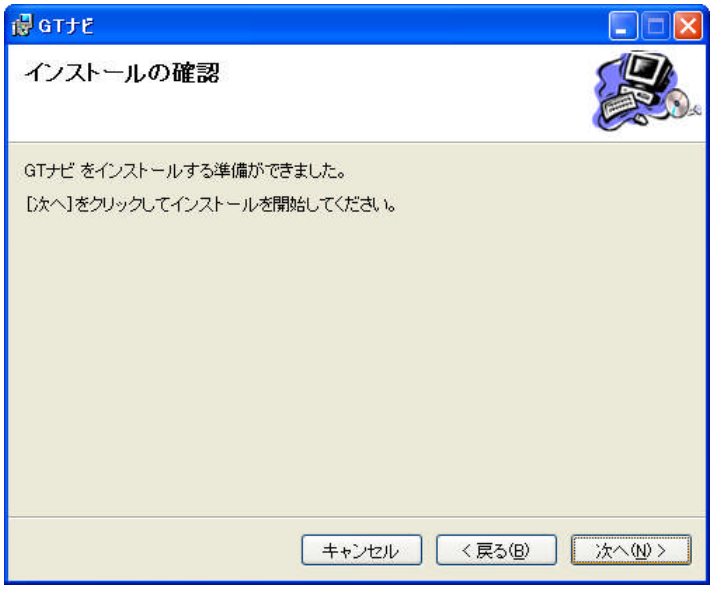
■ 「次へ」ボタンを選択します。

■ 「インストールフォルダの選択」画面が表示されます。

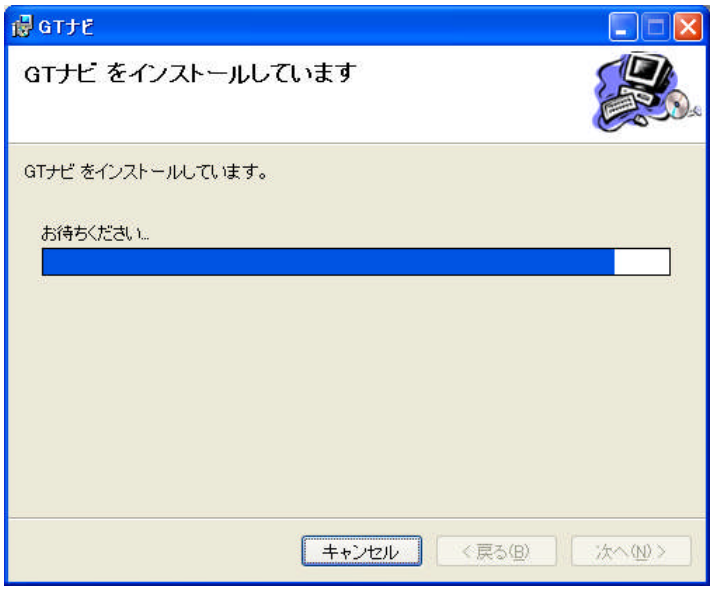


■ 「次へ」ボタンを選択します。

■ 「インストールの確認」画面が表示されます。

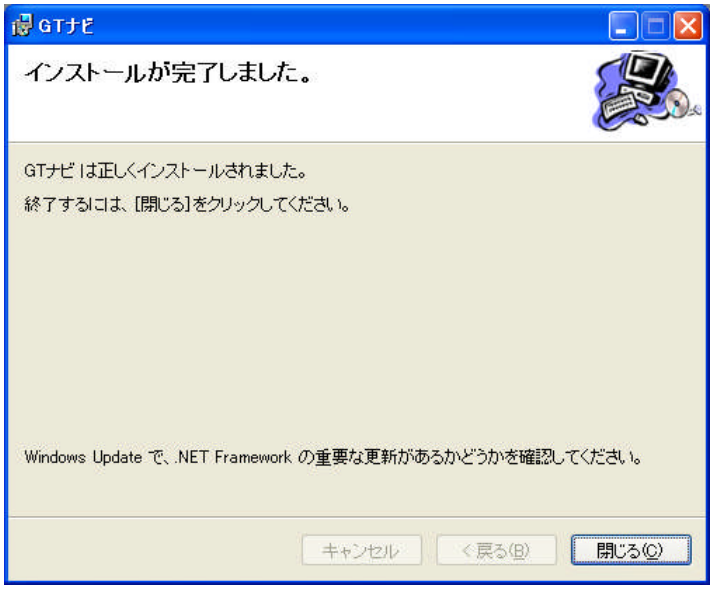


■ 「次へ」ボタンを選択します。インストールが開始されます。



■ メッセージボックスが表示されますので「はい」ボタンを選択します。

■ 「インストールが完了しました」画面が表示されます。



■ これでインストールは、完了です。

注意！

・初めてインストールした場合、本アプリケーションは GT ナビとして起動します。
・再インストールした場合、本アプリケーションは前回の設定内容で起動します。

5.2. GT ナビのアンインストール

GT ナビのアンインストールは、以下の手順で行います。

【手順】

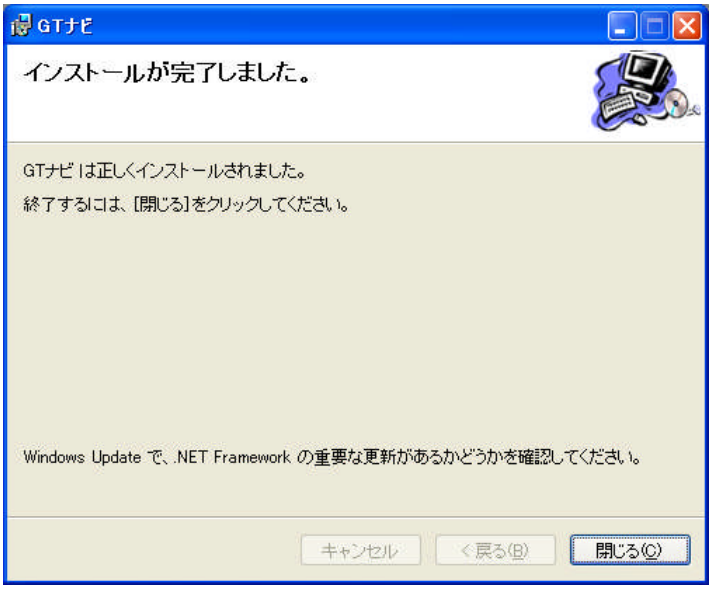
■ ［コントロールパネル］－「プログラムの追加と削除」を選択します。

■ 「GT ナビ」を選択します。

■ 「削除」ボタンを選択します。

■ メッセージボックスが表示されますので、「はい」ボタンを選択します。

■　「インストールが完了しました」画面が表示されます。



■これでアンインストールは、完了です。

6. GT ナビの起動と終了

6.1. GT ナビの起動

GT ナビの起動には、以下の方法があります。

6.1.1. スタートメニューからアプリケーションを起動

[スタート]－[すべてのプログラム]－[GT ナビ]－[GT ナビ]を選択します。

6.1.2. ディスクトップ上のショートカットメニューからアプリケーションを起動

ディスクトップ上のショートカット ICON を選択します。

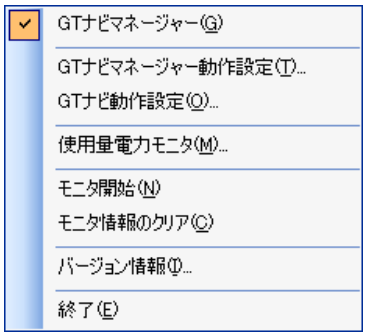
6.1.3. スタートアップからアプリケーションを起動

パーソナルコンピュータを再起動し、本アプリケーションを自動起動します。

6.2. GT ナビの終了

GT ナビの終了方法は、以下の通りです。

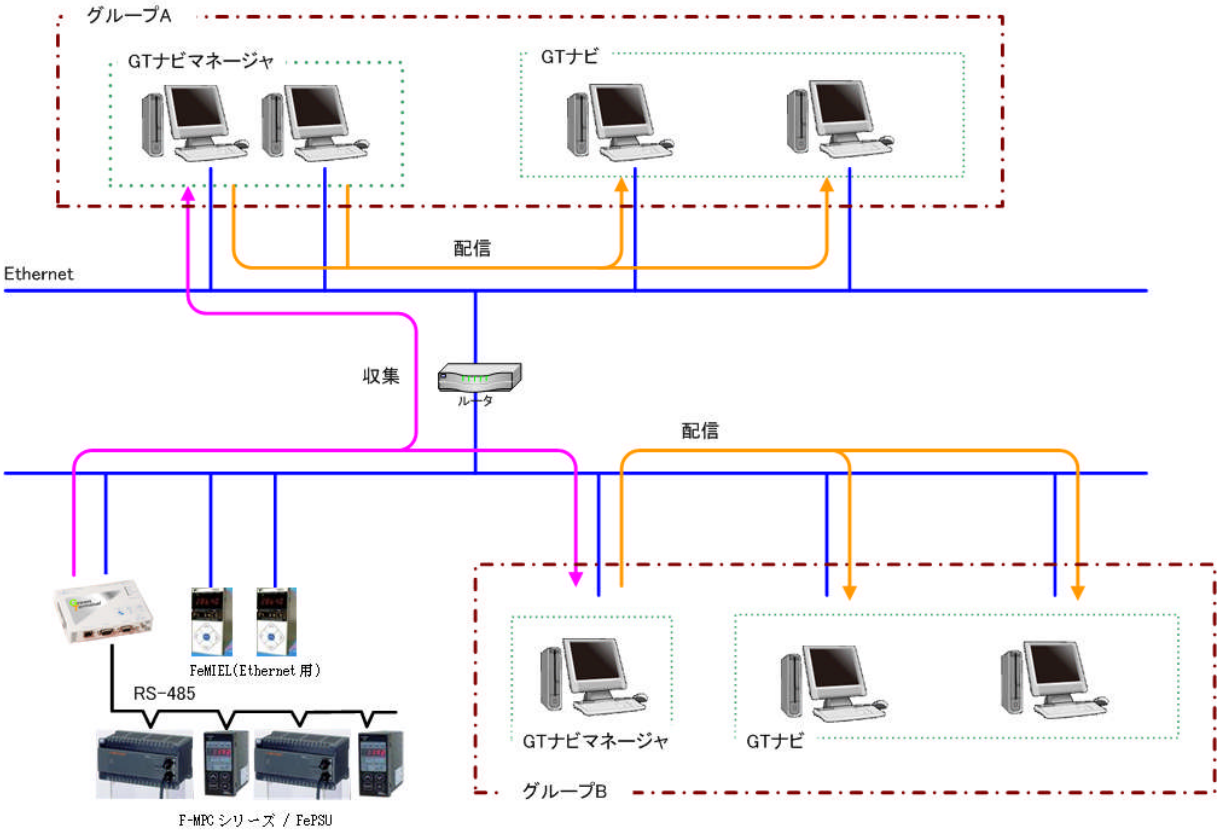
- タスクトレインの ICON( )の上に、マウスポインタを移動します。
- マウスの右ボタンを選択し、コンテキストメニューを表示します。



- 終了メニューを選択します。

7. GreenTerminal と GT ナビの接続構成

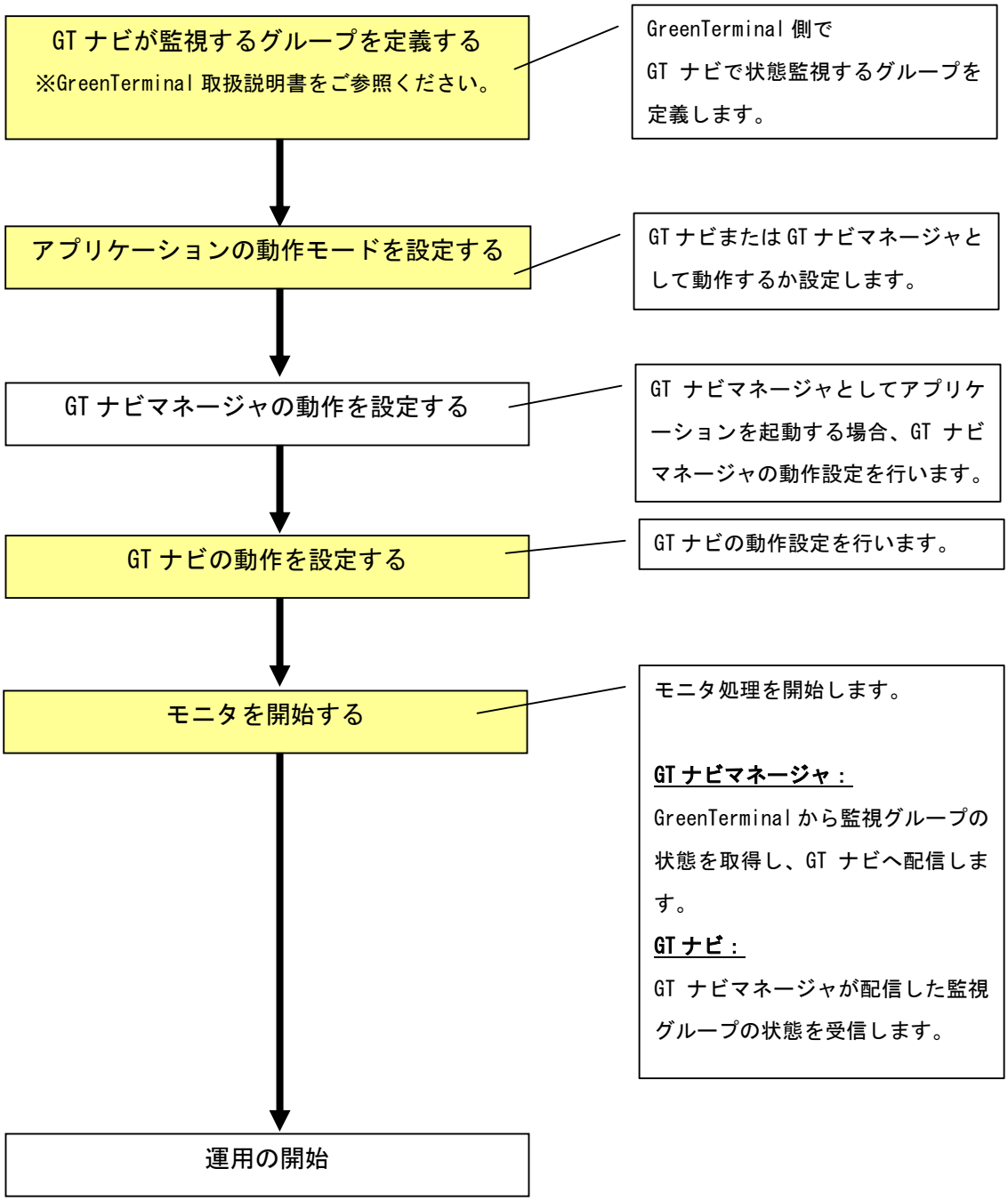
以下は、GreenTerminal と GT ナビの接続構成例です。



8. GT ナビの設定

GT ナビを、ご利用いただくには以下の手順で設定を行う必要があります。

項は、必ず行う必要があります。 項は、必要に応じて行ってください。



8.1. GT ナビで状態監視するグループを設定する

GT ナビで状態監視するグループをデマンド定義ファイルに定義します。定義内容、方法については、GreenTerminal 取扱説明書(NA503894-09)の「12.1 デマンド定義ファイルフォーマット」を参照ください。

また、定義した内容を、GreenTerminal にアップロードする必要があります。アップロードの方法については、GreenTerminal 取扱説明書(NA503894-09)の「12.4 アップロード」を参照ください。

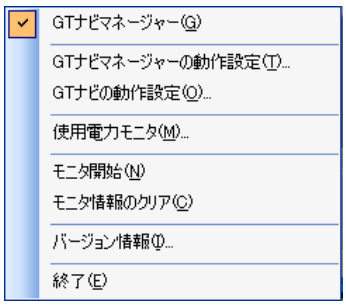
8.2. アプリケーションの動作モードを設定する

本アプリケーションのインストール後は、GT ナビモードとして起動します。

GT ナビマネージャーモードとして、アプケーションをご使用する場合は、以下の手順を実行してください。

【手順】

- タスクトレイの ICON( )の上にマウスポインタを移動します。
- マウスの右ボタンをクリックし、コンテキストメニューを表示し、「GT ナビマネージャー」メニューを選択します。



注意！

・コンテキストメニューの「GT ナビマネージャー」にチェックマークがついていない場合は、GT ナビモードで、本アプリケーションは実行されています。

・GT ナビで起動している場合、コンテキストメニューの「GT ナビマネージャ動作設定」メニューは表示されません。

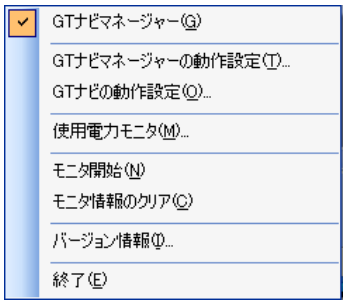
・動作モードを変更した場合、モニタ情報が自動的にクリアされます。

8.3. GT ナビマネージャーの動作を設定する

本アプリケーションを GT ナビマネージャーとして起動する場合、GT ナビマネージャーの動作設定を必ず行う必要がありまので、以下の手順を実行してください。

【手順】

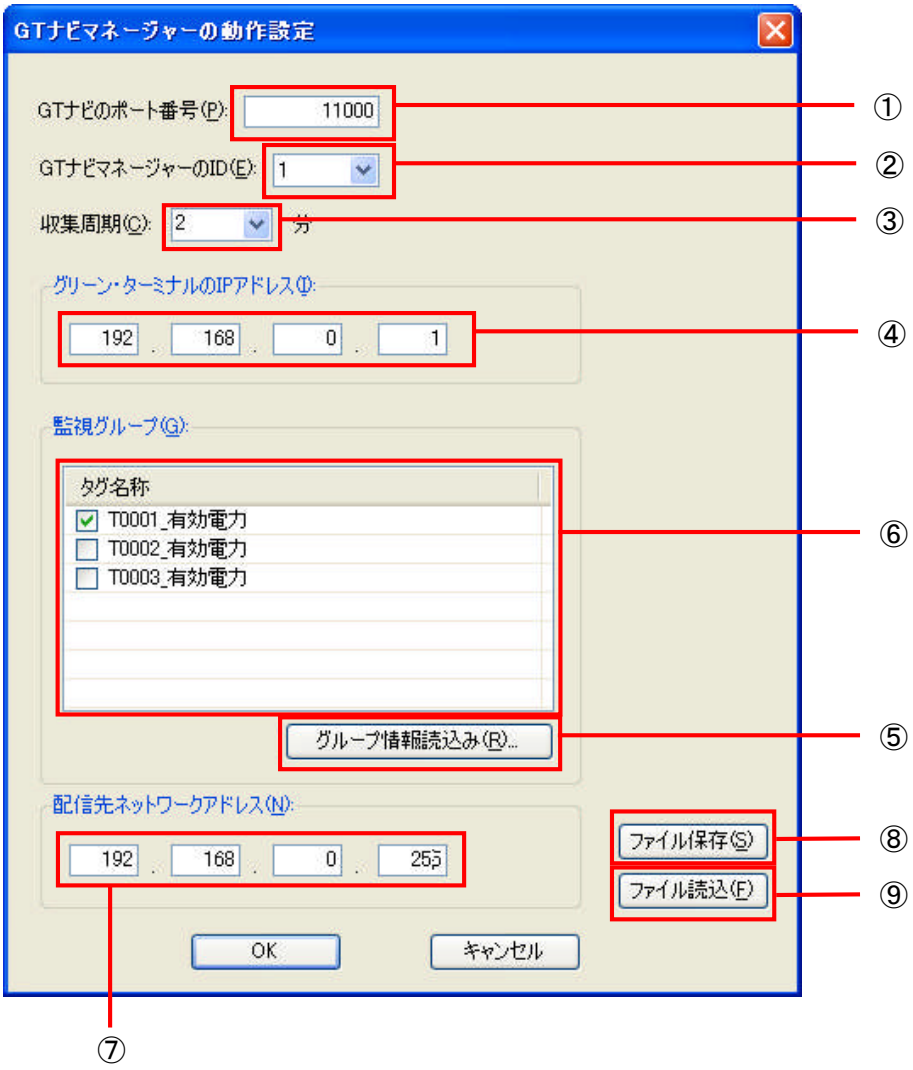
- タスクトレイの ICON( )の上にマウスポインタを移動します。
- マウスの右ボタンをクリックし、コンテキストメニューを表示し、「GT ナビマネージャー動作設定」メニューを選択します。



- ①配信先の GT ナビのポート番号を設定します。必ず、「GT ナビの動作設定」画面で設定した「ポート番号」と同一ポート番号を設定してください。
- ②GT ナビマネージャーの ID を 1～5 の間で設定します。
  同一グループ(同一ネットワークセグメント)内に最大 5 台の GT ナビマネージャーを起動することができます。その場合、「GT ナビマネージャーの ID」が他の GT ナビマネージャーと重複しないように設定します。
- ③収集周期を選択します。
- ④状態を監視したいグループを管理する、GreenTerminal の IP アドレスを設定します。
- ⑤GreenTerminal が管理するグループ情報を本アプリケーションに読込みます。
- ⑥主となる監視グループを 1 つ選択します。
- ⑦配信先のネットワークアドレス（ブロードキャストアドレス）を設定します。
- 配信先のネットワークアドレスについては、ネットワーク管理者にご確認していただき設定してください。
- ⑧設定内容を、ファイルに保存する場合、選択します。(必須項目ではありません。)
- ⑨他の GT ナビマネージャーが設定した動作設定ファイルを読出す(流用)場合に選択します。(必須項目ではありません。)
- 「OK」ボタンを選択します。
- 以上で設定は完了です。

注意！

・動作設定を変更した場合、モニタ開始が選択されているかご確認ください。
・動作設定を変更した場合、モニタ情報が自動的にクリアされます。
・「ファイル読込」を行った場合、「GT ナビマネージャーの ID」が他の GT ナビマネージャーと重複しないように設定してください。

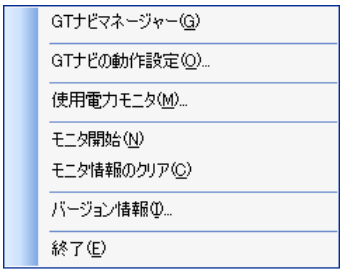


8.4. GT ナビの動作を設定する

本アプリケーションを GT ナビマネージャーおよび GT ナビとして起動する場合、以下の手順を実行してください。

【手順】

- タスクトレイの ICON( )の上にマウスポインタを移動します。
- マウスの右ボタンをクリックし、コンテキストメニューを表示し、「GT ナビ動作設定」メニューを選択します。



- ①受信先のポート番号を設定します。必ず、「GT ナビマネージャーの動作設定」画面で設定した「GT ナビのポート番号」と同一ポート番号を設定してください。異なるポート番号を設定した場合、GT ナビマネージャーが配信したデータの受信ができません。
- 「OK」ボタンを選択します。
- 以上で設定は完了です。

注意！

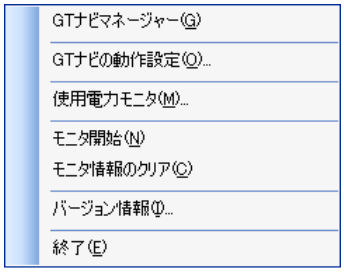
・動作設定を変更した場合、モニタ開始が選択されているかご確認ください。
・GT ナビの動作設定は、GT ナビマネージャー、GT ナビのどちらで実行しても設定は必須です。
・動作設定を変更した場合、モニタ情報が自動的にクリアされます。

8.5. モニタを開始する

モニタを開始する場合、以下の手順を実行してください。

【手順】

- タスクトレイの ICON( )の上にマウスポインタを移動します。
- マウスの右ボタンをクリックし、コンテキストメニューを表示し、「モニタ開始」メニューを選択します。



注意！ モニタ実行中は、「モニタ開始」メニューの前に、チェックマークがついています。

9. 監視グループの状態表示

9.1. タスクトレイの ICON 状態表示

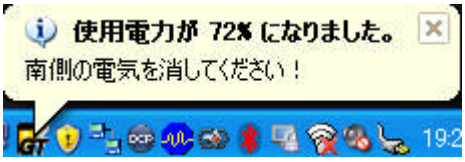
GT ナビマネージャーの動作設定画面の監視グループで、設定された GT ナビで監視するグループの状態をタスクトレイに ICON で表示します

状態の変化により、表示される ICON が異なります。以下に ICON 状態を示します。

No.	閾値	ICON 状態
1	節電レベル閾値 1 以内	
2	節電レベル閾値 2 以内	
3	節電レベル閾値 3 以内	
4	節電レベル閾値 4 以内	
5	節電レベル閾値 4 超過	

9.2. バルーン表示

GT ナビマネージャーの動作設定画面の監視グループで、設定された GT ナビで監視するグループの状態変化を検知するとバルーンを表示し、現在の電力使用率と指針が表示されます。



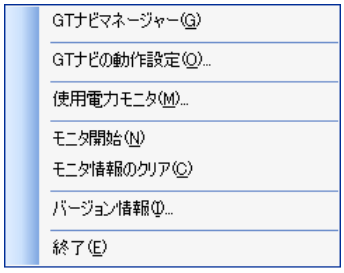
9.3. 使用電力モニタ

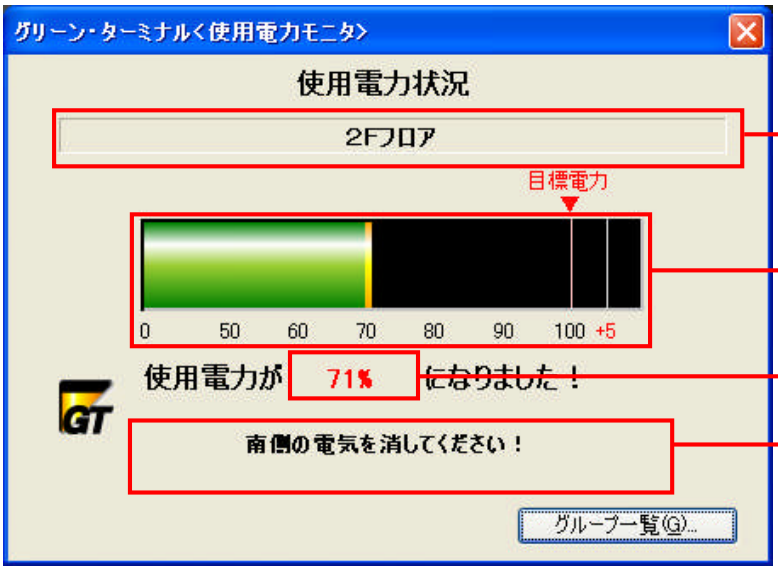
GT ナビマネージャーの動作設定画面の監視グループで、設定された GT ナビで監視するグループの状態をグラフ表示します。

使用電力モニタ画面を表示するには、以下の手順を実行してください。

【手順】

- タスクトレイの ICON( )の上にマウスポインタを移動します。
- マウスの右ボタンをクリックし、コンテキストメニューを表示し、「使用電力モニタ」メニューを選択します。





GT ナビが常に監視しているグループの名称を表示します。

電力使用率をグラフで表示します。

電力使用率を表示します。

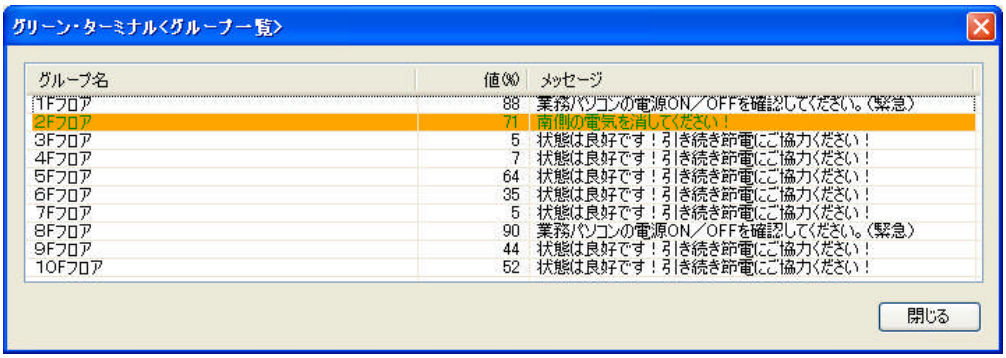
節電レベルに対する指針を表示します。

9.4. グループ一覧

GreenTerminal で管理している全てのグループの電力状態を一覧表で表示します。
グループ一覧画面を表示するには、以下の手順を実行してください。

【手順】

- ■ 使用電力モニタ画面を表示します。
- ■ 「グループ一覧」ボタンを選択します。



注意！

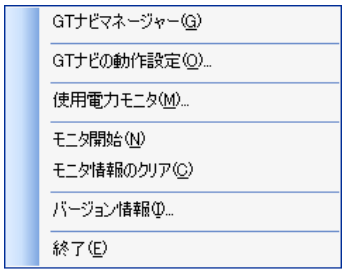
・グループ一覧画面に表示される順番は、GT ナビに受信できたグループ順に表示されます。
・GT ナビで主となる監視グループの行は、オレンジ色で表示されます。

9.5. モニタ情報のクリア

GT ナビで受信した、全てのグループのモニタ情報を手動でクリア（初期状態）することができます。
モニタ情報をクリアするには、以下の手順を実行してください。

【手順】

- タスクトレイの ICON( )の上にマウスポインタを移動します。
- マウスの右ボタンをクリックし、コンテキストメニューを表示し、「モニタ情報のクリア」メニューを選択します。



注意！ モニタ情報のクリアは、モニタが停止しているときに選択できます。

10. トラブルシューティング

トラブル内容	
■GreenTerminal にアクセスできない	
確認事項	・アクセスした IP アドレスが正しいか確認してください。
	・LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 正しければ LAN コネクタの LED が点灯・点滅しています。 （※PC と GreenTerminal を直接接続する場合は LAN クロスケーブルを使用してください）
	・GreenTerminal 本体前面の LED「POW」が点灯しているか確認してください。
■１０グループを超えるデータを受信したメッセージが表示された場合	
確認事項	・同一グループ内に、複数の GT ナビマネージャーが存在し、「GT ナビマネージャーの動作設定」が異なります。 GT ナビマネージャーの管理者に連絡していただき、動作設定が一致しているか確認してください。
■ GT ナビで主となる監視グループが 2 つ以上存在するメッセージが表示された場合	
確認事項	・同一グループ内に、複数の GT ナビマネージャーが存在し、「GT ナビマネージャーの動作設定」が異なります。 GT ナビマネージャーの管理者に連絡していただき、動作設定が一致しているか確認してください。

著作権及びサポートについて

■本製品「グリーン・ターミナル」(以下、本ソフトウェア)の著作権は富士アイティ株式会社が保有します。

■本ソフトウェアを無断で譲渡、転売、2次配布することは一切禁止いたします。

■当社は本ソフトウェアに関し、海外での保守サービス及び技術サポート等は行っておりません。

■本ソフトウェアの運用の結果、万一損害が発生しても、弊社では一切責任を負いませんのでご了承ください。

本文書について

■本文書の著作権は富士アイティ株式会社が保有します。

■本文書の内容を無断で転載することは一切禁止します。

■本文書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。

■本文書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点、誤りなどお気付きの点がありましたら弊社までご連絡下さい。

商標について

■ Windows、Internet Explorer、Microsoft Excel は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

■ 会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

2011 年 6 月 24 日 初版

e-Front runners

富士アイティ株式会社
〒190-0012
東京都立川市曙町２－４－３　ＴＩＳビル
http://www.fujielectric.co.jp/fit/

[お問合せ先]
電　話：0120-71-5571（フリーダイヤル）
※午前 9 時～午後 5 時。ただし、土日祝日、弊社休業日は除きます。
ＦＡＸ：042-525-1321
E-Mail：fit-product@fujielectric.co.jp